

美しい 県土づくりNEWS



2008年

8月

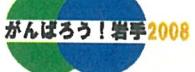
岩手県県土整備部
手づくり広報誌 49号
平成20年8月13日発行
編集 県土整備企画室



Iwate・平泉
観光キャンペーン

目次

- 2 「岩手・宮城内陸地震に思う」
- 3 岩手・宮城内陸地震にかかる緊急要望
- 4 「平成20年岩手・宮城内陸地震」土木関係被害対応状況
- 5 津波防災出前講座開催
- 6 親子で見るダムの現場
- 7 町民と行政で進める町づくり『ユイコのケアドー事業』
- 8 8月10日は「道の日」です
- 9 第16回二戸地区「北の道クリーンキャンペーン」
- 10 「森と湖に親しむ旬間」イベント開催
- 12 下水道フェスタ2008のお知らせ



～「がんばろう！岩手」宣言～

全国各地から頂いたお見舞いや励ましを糧に、度重なる大地震の被害を県民総参加で乗り越え、県民一丸となって復旧、復興に取り組んでいくことを目指し、8月4日に達増知事は「がんばろう！岩手」を宣言しました。



(写真) 7月から9月に展開中の「いわて・平泉観光キャンペーン」おもてなしイベントの一環として、また、先般の「岩手・宮城内陸地震」の風評被害を吹き飛ばし、「元気な岩手の観光」をアピールするため、8月2日(土)「盛岡さんさ踊り」で、知事を先頭に観光PRを行いました。



「岩手・宮城内陸地震に思う」

国土整備部 道路都市担当技監 平井 節生

6月14日午前8時43分に発生した岩手・宮城内陸地震により、多くの方々が被災し、また、県土に大きな傷跡が残っていることに心を痛める次第です。

私事で恐縮ですが、20年あまりの職歴の中で、今回が最も大きな災害です。ただ、過去にも、例えば平成16年の台風被害等数回の災害の現場で仕事をさせて頂きました。そのたびに思うのですが、私たちの仲間（国土、県土整備の仕事に携わる方々）の意識の高さです。発災当初の迅速な行動、体制の構築、発災現場での果敢な行動、技術的な知見の共有等々にそれが現れています。

このことは、危機管理対応マニュアルがあるからとか、あるいはそうしなければマスコミにたたかれるからというだけで維持されている美点ではなく、災害が起きたときに先輩がどのように行動するか、若い人が見ていて伝承されているものだと思います。

職場ではなく、生活の場であるコミュニティの中はどうでしょうか。今回の災害でも、ボランティアで、被災した方々の物質的、精神的な支えになった方がたくさんいらっしゃいます。日本のコミュニティの中では、いざというときに隣人を助ける利他的な援助行動が受け継がれているという説を唱える学者もいらっしゃいます。

私は、このことが廃れていかないように祈るばかりです。高齢化等を原因として、特に小さなコミュニティの崩壊の危機が忍び寄っています。小さなコミュニティの維持にはコストがかかるからと言ってその集約化等を図ろうとする議論がありますが、その

ような議論の過程で、コミュニティの中の見えない連携の価値を無視するべきではありません。

再び私事で恐縮ですが、私は岩手に住むのは初めてで、4月に現職に就いて以来、今回被災した地域を数回ドライブし、その美しさに感心していました。特に、初春の頃の須川の木々の色、石淵ダム上流に入っていた時の新緑の美しさ、一関市平野部の鮮烈な緑色を呈する水田の風景等が印象に残っています。

今回の地震により、この美しい地域の一部が毀損させられてしまったわけです。そのことは、土木被害額約170億といった数字では表現できない重みを持ちます。

例えば、国道342号の須川付近は、昭和30年代に難工事の末開通されたもので、線形は厳しいのですが、自分の運転で須川の奥まで入って行って自然を堪能できるありがたさを考えると、その価値は計り知れないものがあります。

今私たちが取り組んでいる仕事はこの地域の美しさ、地味の豊かさを、先人たちが誰にでもアクセスできるようにしてくれた、その財産を取り戻す仕事でもあると思います。

今後とも、国土整備部及び地方振興局土木部は、一丸となって、災害復旧・復興に取り組んで参ります。

政
要
府
望

岩手・宮城内陸地震にかかる緊急要望

県では、平成20年7月16日(水)と18日(金)の両日、知事が霞ヶ関の関係省庁を訪ね、岩手・宮城内陸地震にかかる緊急要望と平成21年度政府予算への提言・要望を行いました。

国土整備部関連では、知事と国土整備部長が国土交通大臣、財務事務次官に対して、公共土木施設の早期復旧への支援等について要望しました。

【国土整備部関連 要望事項(国土交通省、財務省)】

○ 公共土木施設の早期復旧への支援について

被災した道路、橋りょう、河川、砂防等の公共土木施設について、災害復旧事業及び改良事業による早期復旧を支援すること。

○ 磐井川流域における土砂災害対策への総合的支援について

磐井川流域を中心に多発した河道閉塞(天然ダム)・掛け崩れ・土石流対策について、砂防災害関連緊急事業、砂防激甚災害対策特別緊急事業などによる総合的な支援を行うこと。

○ 一般国道342号の災害復旧への総合的支援について

一般国道342号は、栗駒国定公園の観光に大きな役割を果たしていることから、早期の復旧に向けた総合的な支援を行うこと。



冬柴国土交通大臣への要望の様子 (7/18)



杉本財務事務次官への要望の様子 (7/16)

現在、本格的な復旧に向けて、各種検討委員会で復旧方法等を検討するとともに、磐井川では砂防えん堤等の着工準備も進んでいます。

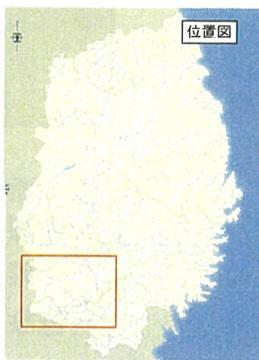
今後も関係機関等の協力のもと一丸となって復旧作業を進めていきます。

<※内陸地震による土木関係被害への現在の対応状況について、次のページにまとめています>

「平成20年岩手・宮城内陸地震」土木関係被害対応状況

「平成20年岩手・宮城内陸地震に係る国道342号災害復旧技術検討委員会
復旧計画案を策定
(第1回:7/3、第2回:7/18、第3回:7/29)

「国道342号祭崎大橋被災状況調査検討委員会
祭崎大橋の被災メカニズムの解明等
(第1回:7/25)



復旧計画案

- 現道ルートを基本
- 1.5車線的整備

《1.5車線的整備》

- 2車線改良、1車線改良並びに突角剪除及び待避所を組合わせた道路整備

④国道342号:須川温泉～真湯温泉
被害箇所多数

復旧計画案

- 北側架橋ルート
- 市道鬼頭明通線を一部利用

仮橋の設置

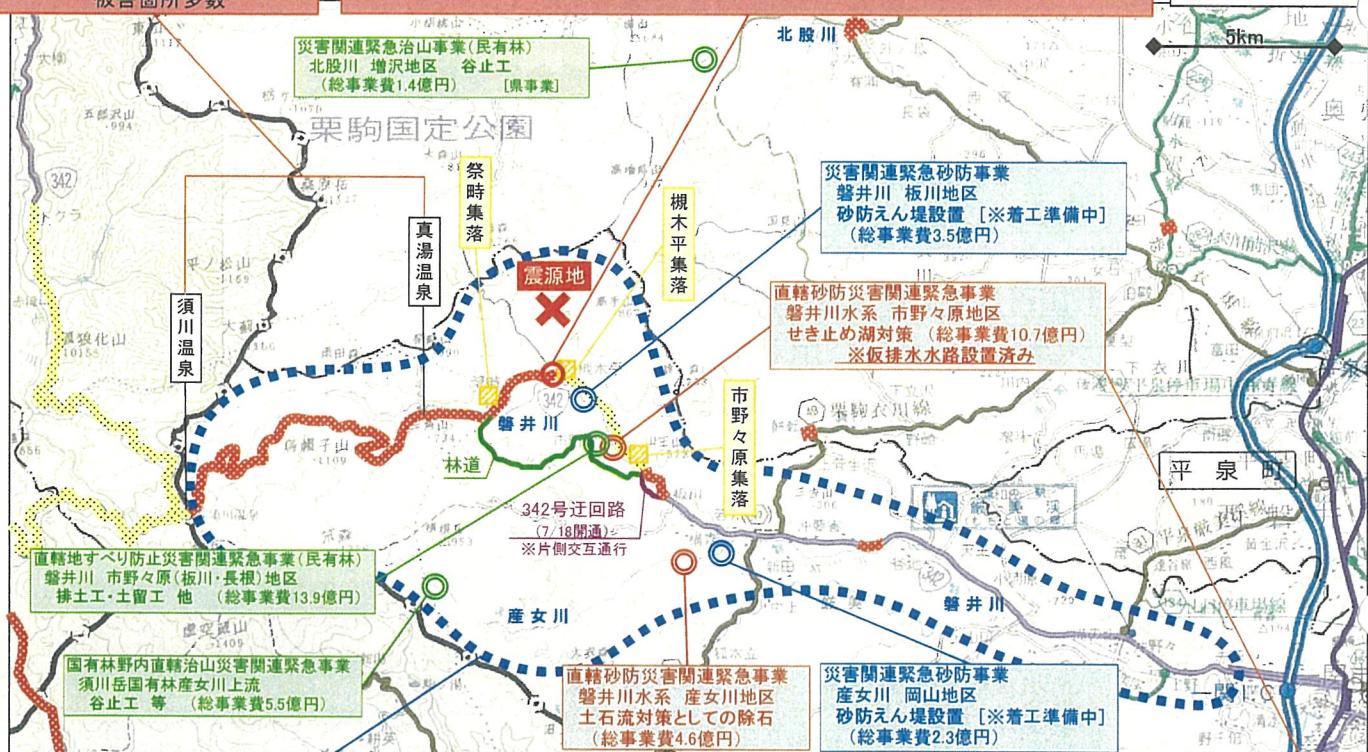
- 現橋と新橋の中間に仮橋を設置
⇒ 真湯への交通を確保

祭崎大橋の被災メカニズムの解明
↓
復旧に当たっての技術的配慮事項を抽出
↓
被災橋梁の復旧設計に反映

凡例

- 直轄砂防災害関連緊急事業
- 災害関連緊急砂防事業(県)
- 治山関係事業(国・県)
- 全面通行止区間
- 片側交互通行区間

① 国道342号:祭崎大橋 落橋



多数の斜面崩壊、不安定土砂の河道堆積、地すべり 等

「平成20年岩手・宮城内陸地震に係る土砂災害対策技術検討委員会
緊急対策と恒久的な土砂災害対策について基本的な計画を策定
(第1回:6/28、第2回:7/29、第3回:9月上旬)



土砂災害対策に関する検討

- 基本方針の検討
- 施設配置計画に関する検討
- 警戒避難に関する検討

土砂移動現象の予測に関する検討

- 数値シミュレーションの実施
- 土砂移動現象と被害範囲の予測
- 計画施設の効果の検討

河道閉塞箇所のソフト対策

国、県、市が安全対策基準を設定し、地域住民への迅速な情報伝達や緊急避難の発令に取り組んでいる。

＜安全対策基準設定河川＞

- 国・県設定：磐井川流域
→磐井川、産女川
- 奥州市設定：衣川流域
→北股川上流

※ 安全対策基準

- 降雨量等に応じてレベル1～3を設定

磐井川 市野々原地区 せき止め湖



直轄砂防災害関連緊急事業 [せき止め湖対策]
(6/21: 第1断面通水, 7/5: 第2断面通水)



津波防災出前講座開催！

久慈地方振興局土木部

7月22日（火）野田村の野田中学校にて、子供達に津波に関する知識を教え、防災意識の向上を図ることを目的に、「津波出前講座」を開催しました。

土木部の職員が、2004年のインド洋大津波の映像やコンピューターグラフィックを交えて、クイズ形式により津波の発生の仕組みや避難方法を解り易く解説しました。

講座を受けた生徒からは、「津波の威力を甘く見ていたので改めて危険と感じました」「避難所などを確認して津波に備えたいと思います」等の感想が聞かれ、津波に対する理解が深められたと思います。

出前講座は今回で4回目の開催となり、今後も定期的に行う予定です。



出前講座の様子



熱心に聞き入る生徒達



明治三陸津波の被害の様子（明治29年宮古市鍬ヶ崎）



昭和35年チリ地震津波（大船渡市盛町）

←舟がぶつかって家が壊れた様子



三陸沿岸の複雑な地形では、湾の奥で波が高くなる！

«講座のまとめ»

1. 津波は、地震の後に発生する。
2. 津波は、速くて、その力はとても強い。
3. 大きい津波は地震が弱くても起きる。
4. 津波は、1度だけでなく何度も何度も押し寄せる。
5. 津波から逃げるときは、高い所へ避難する。

親子で見るダムの現場！

～遠野第二ダム 親子見学会を開催～

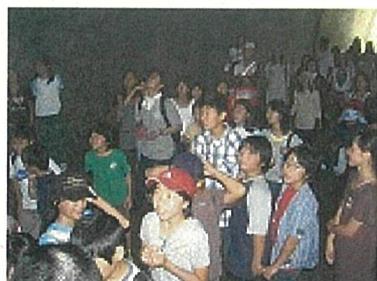
遠野土木センター

7月12日（土）遠野小学校6学年の親子と先生（約120人）によるサイクリング会の一環として、遠野第二ダム建設現場の見学会を開催しました。

前日は激しい雷雨でしたが、当日は朝から快晴で、絶好の見学会日和となりました。建設中のダム現場では大型クレーンが頻繁に動く様子を見学し、洪水吐トンネルではトンネル内の冷たい空気を感じてもらい、歓声の連続でした。



ダム建設現場

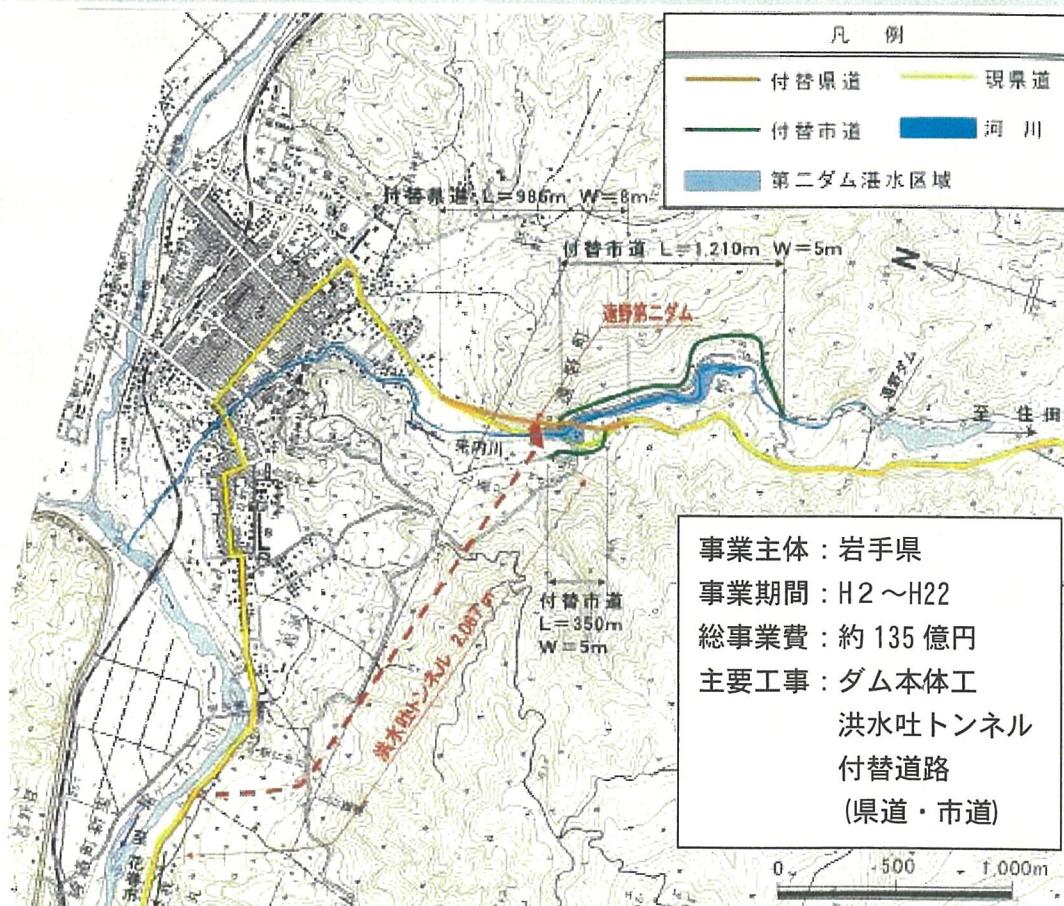


洪水吐トンネル



サイクリング

事業の紹介



町民と行政で進める町づくり 「ユイコのケアドー事業」

「軽米町 ~結いの道づくり~」

二戸地方振興局土木部

軽米町民と行政が協力して道づくりを進める「ユイコのケアドー事業」が、6月2日から8日にかけて軽米町下新町と蛇口の2地区で行なわれました。同事業には町職員と町民が合わせて約120人参加しました。

下新町地区では、6月2日から6日にかけて軽米八幡宮付近の道路に側溝を設置しました。下新町町内会の住民を中心に約75人が参加。トラックから降ろされた側溝の周りにスコップで碎石を敷きつめる作業のほか、交通整理も住民の手で行なわれました。

蛇口地区では、6月8日、住民約40人が参加して町道蛇口道合線等の道路整備を行いました。砂利を敷き、スコップや重機を使って均すなど、町民と行政が力を合わせ「結いの道づくり」が行なわれました。

「結いの道づくり」は、平成16、17年度に、二戸地方振興局と軽米町が住民に呼びかけて、住民協働で実施した二級河川雪谷川の管理道整備から端を発しております。その後、「結いの道づくり」は「ユイコのケアドー事業」として軽米町に引き継がれ、現在まで継続しています。

地域が主体性を持ってアイディアを生かしながら地域づくりに取り組むことで、地域力が高まり、愛着を感じられる地域を創造することができる。軽米町ではこの取組みを今後も続けて行くことにしています。

【下新町地区の皆さんによる側溝設置の様子】



住民と町職員が協力して作業が進められました



住民による交通整理が行なわれスムーズに作業が進みました

8月10日は「道の日」です

～道路環境課～



8月10日は「道の日」

国では、道路とふれあい、道路の役割や大切さを認識してもらい、また道路に対するいたわりやいつくしむという愛護の心を高めてもらうため、8月を「道路ふれあい月間」、8月10日を「道の日」（昭和61年～）と定めています。

★なぜ「道の日」が8月10日なの？

- ① 大正9年8月10日にわが国で最初の道路整備についての長期計画である第1次道路改良計画が実施されたこと
- ② 「道路ふれあい月間」（平成13年度より「道路をまもる月間」から名称変更）の期間中であることに由来しています。



毎年、道の日にちなんで、各地でパレードや清掃活動等が行われています。



昨年度のイベントの様子です♪



道の日 in 宮古



仙人峠の集い



旧伊保内街道を歩く

気仙歴史の道を歩いてみよう
(竹駒・横田編)

黄金ロードふれあい作戦

どの道も
ほくらのなが~い
宝物

ようこそと
きれいな道で
おもてなし

ゴミひろう
道から聞える
ありがとう

— 平成20年度「道路ふれあい月間」推進標語入選作品より —

☆イベント情報 「黄金の道 秀衡街道(和賀)を歩く会」

■ 日時 8月31日(日) 9:00~16:00

■ 内容

「森の巨人たち百選」に選定されている樹齢約900年の「姥杉」や久那斗神社をめぐりながら秀衡街道を歩きます。

～問合せ先：北上総合支局土木部(0197-65-2738)～



第16回二戸地区「北の道クリーンキャンペーン」

8月10日は「道の日」

～22路線約300km・200人参加、無事終了！～

二戸地方振興局土木部

「北の道クリーンキャンペーン」は、8月10日の「道の日」に因んで、岩手県建設業協会二戸支部青年部が平成5年度からはじめて、今年度で16回目になります。

8月6日午後1時30分から二戸市シビックセンター芝生広場において約200名（同青年部が主催、国、県、市町村が後援）が参加し、盛大に開会式が行われました。

開会式では岩手県建設業協会二戸支部青年部長、同二戸支部会長、国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所二戸国道維持出張所長と二戸地方振興局土木部長が順次挨拶を行い、終わりに事務局から注意事項等の説明が行われました。その後、青年部が2班に分かれ二戸市と一戸町の街路樹の剪定作業等を行い、その他の参加者が20班に分かれ、管内の道路22路線、約300kmの清掃活動を行いました。

清掃した主な路線は、国道（4号、340号、395号）、県道（二戸田子線、二戸五日市線、二戸九戸線、軽米種市線、戸呂町軽米線、軽米九戸線、一戸山形線、一戸葛巻線）、市町村道（二戸市、軽米町、一戸町、九戸村）。参加者は、総勢197人（青年部：87人、国10人、振興局63人、市町村37人）。

当日は快晴で気温が32℃まで上がり、参加者は汗だくになりながら約3時間に亘って清掃活動を行い、午後4時30分頃無事終了しました。

青年部が剪定した樹木の枝等は2トントラック28台、また、国、県、市町村が国道等から回収したゴミは、ゴミ袋129袋（国：10袋、県：92袋、市町村：27袋）、粗大ゴミ2t（二戸市：トラック3台）になりました。



小保内部長挨拶



開会式



15班ごみ収集状況



二戸一戸線街路樹剪定(青年部)



二戸九戸線街路樹剪定(青年部)



ゴミ収集量(県分)



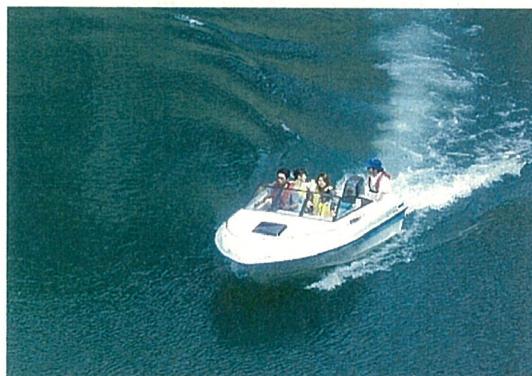
2班ゴミの収集途中状況

「森と湖に親しむ旬間」イベント開催

「森と湖に親しむ旬間」岩手県実行委員会 各分科会・河川課

今年も県内各地のダム周辺で「森と湖に親しむ旬間」の関連イベントが開催されました。ほとんどの会場が好天に恵まれ、多くの家族連れでにぎわいました。
県営6ダムについて、その様子をお知らせします。

入畠ダム 「遊・YOU・入畠・2008」 平成20年7月26日（土） 北上地区分科会



好天に恵まれ、入畠ダムを中心とした4会場で実施されたイベントは家族連れを中心に賑わいました。

なかでもダム湖パトロールが好評で多くの人を集めました。

←写真は湖面を疾走するダム湖パトロールの様子

鷹生ダム 「第2回五葉湖畔の集い」 平成20年7月27日（日） 大船渡地区分科会



天候は霧雨でしたが、終日大きく崩れることなく、参加者はボート乗船体験など各種のイベントを楽しみました。

綾里川ダムから鷹生ダムに会場を移して2回目のイベントとなりましたが、地域の皆さんへの参加も増え、「地元のダム」として根付いてきているようです。

←写真は積み木競争の様子。
精神を集中して高く積み重ねます！

日向ダム 「日向ダム湖畔の集い」 平成20年7月27日（日） 釜石地区分科会



真夏の空模様となり、絶好のイベント日和になりました。

木工教室は盛況で、いす、本棚、巣箱、木の飾りなどを係員の指導により製作。

参加者は思い思いに湖畔のひとときを楽しみました。

←写真は木工教室の様子

綱取ダム「森と湖in綱取」2008！平成20年7月30日（水）盛岡地区分科会



当日は梅雨の間の晴天に恵まれ、真夏の暑さになりました。

参加人数は昨年より多く、子供から大人までニジマスのつかみどりや木工教室、植物観察会などに参加し、湖畔のひとときを大いに満喫しました！

←写真は魚のつかみ取りの様子

早池峰ダム「第16回森と湖に親しむ子どもまつり」平成20年7月31日（木）花巻地区分科会



魚のつかみ取りでは、子供たちがずぶ濡れになりながら魚を追いかけ歓声をあげていました。

参加者は、さまざまなイベントに参加する事により、ダムに対する理解が深めしていました。

常連さんも見受けられ、地域に根ざしている様子にスタッフ一同、疲れも和らぎました。

←写真は、開会式後に全員集合して記念撮影している様子

滝ダム「長内川川まつり」 平成20年8月3日（日）久慈地区分科会



平成18年度から長内川川の会（市民団体）と共に催しており、官民がお互いの持ち味を活かしたいいろいろなイベントを開催しています。

35℃の猛暑日の中、子供たちは、川で遊び、自然との親しみを大いに楽しんでいました。

←写真は丸太切り体験の様子

※「森と湖に親しむ旬間」（7月21日～31日）とは？

森林や湖に親しむことによって心と体をリフレッシュしながら、治山・治水及び水資源としての森林整備やダム・河川等の重要性について広く学んでもらおうとするものです。旬間とその前後には全国各地でいろいろなイベントが開催されています。

下水道フェス'08

平成20年9月6日(土) 10:00
ニコニコ! エコエコ! 下水道!! ~15:00

下水道ツアー

いつもは入ることのできない、未知の空間にキミも行ってみよう!

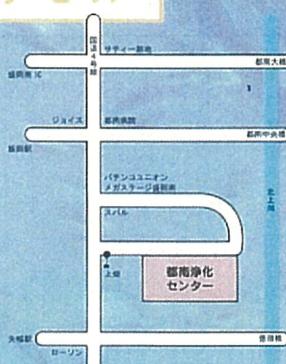
ニコニコ! (遊ぶ)

- 下水道ゲーム
バリコンで下水道のお勉強! 認定証がもらえるクイズやパズル、シミュレーションなどいろいろあるぞ!

- スーパー保育園
キミは勢い派? 優等派?

- お絵かきコンペ
好きな絵を書いて貰へよう! もつともない! お絵べられない?

アクセス



体感! 下水道!



バックホウを操縦しよう! 下水管カメラを操作する風船カワゲーもあるよ!

エコエコ! (体験する)

- 廃油キャンドル製作
家庭の油でキャンドルを作つてみよう!

- 牛乳パック姫すき
牛乳パックを使ってハサキを作つてみよう!

- ペットボトル工作
いらなくなつたペットボトルが競輪やホーリクラフトに大活用!

下水道!! (見る・学ぶ)

- 下水道スタンプラリー
場内を探して奪め尽スタンプで豪華賞品をGETだ!

- 微生物シアター
高活性微生物でミクロの世界に飛び!

- パネル展示
下水道に関する疑問が一気に解決!



ステージ パフォーマンス

10:15~



高田ふるさと祭囃子
(北高田保育園 様)

11:30~



伝承されで演舞
(高田ざわて踊り連中 様)

13:30~



パトントクリングショー
(P.L.I.岩手MBA 様)

*天候等によっては中止する事があります。

記念品

ご来場者にはキューリップの球根(お子様にはヘリコム風船)のタイムセーブス!(10時30分、13時00分の2回)



冷たい飲み物やワタアメ、ポップコーンの無料サービスもあるよ!

お問い合わせ先

財団法人岩手県下水道公社
下水道フェスタ実行委員会事務局
TEL 019-638-2623
<http://www.isf.or.jp>